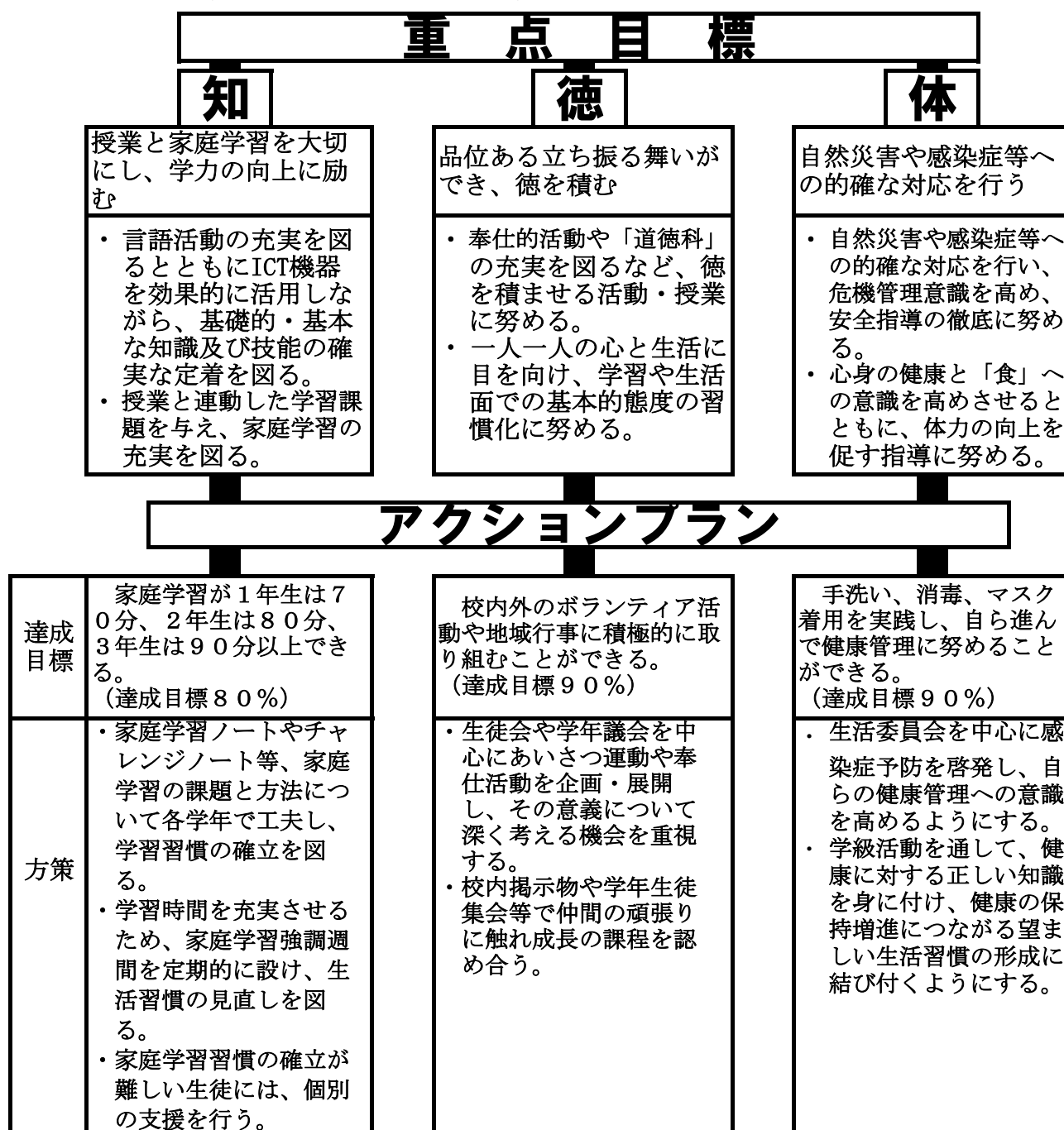


(3) 重点目標を達成するための行動目標



(4) 学力向上対策

【現状・課題】

- ・ 主体的に学習に取り組む生徒が徐々に増えているが、学力の二極化が見られる。また、学び合いにおいて、自分の考えを積極的に表現することや、結論や根拠を明確に相手に伝えることに苦手意識をもつ生徒が多い。
- ・ 家庭学習の定着を図る取組を小学校と時期をそろえて実施しているが、メディアの利用時間が多く、家庭学習の時間が少ない。個人差も大きい。よりよい睡眠を確保されていない生徒もいる。

【対策】

- ・ 3観点の評価を意識しながら、教科の横断性に配慮した授業における単元構想デザインづくりや、学習内容の重点化を図る。
- ・ 発言やつぶやきを大切に拾い、生徒のアイデアを生かしたり、電子黒板やタブレット等のICTを活用したりしながら、知的好奇心を高める授業づくりを行う。
- ・ 言語活動の充実を図るとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指す。
- ・ 授業だけでなく様々な関わり合いを通じて、相手に分かりやすく伝える力を育てる場を設ける。
- ・ キャリア教育の充実を図るとともに、「家庭学習強調週間」を設け、「自発学習」への意欲付けと継続を促進する。